# 「いわて震災津波アーカイブ～希望～」について

岩手県復興防災部復興推進課
令和３年10月15日（金）

デジタルアーカイブ学会
第６回 研究大会 第２部

# 目次

１．いわて震災津波アーカイブ~希望~の概要

２．公開資料

３．復興教育での活用

（1）アーカイブの利点

（2）児童・生徒向けコンテンツ

（3）教育関係者向けコンテンツ

（4）活用事例＜出前授業＞

４．今後の活用

# １．いわて震災津波アーカイブ～希望～の概要

- **東日本大震災津波の経験・教訓を未来に伝承する**ことを目的に構築したデジタルアーカイブ

- 防災活動や防災・復興教育、復興ツーリズム等において活用されるよう、情報発信の性格も有する

- 平成２９年３月３０日公開
（県管理ホームページ）




（いわて震災津波アーカイブ～希望～　画面イメージ）

# １．いわて震災津波アーカイブ～希望～の概要




（いわて震災津波アーカイブ～希望～　画面イメージ）

- 「新着コンテンツ」や「よく見られているコンテンツ」を紹介

令和３年７月アクセス数




いわて復興の歩み2021（動画版）




宮古市閉伊川の河口付近




奇跡の一本松

# ２．公開資料

- 公開資料数　237,690点（令和３年９月末日現在）
  県や市町村が保有する資料だけでなく、国、民間から広く収集し、公開
- 動画や音声といった、デジタルアーカイブならではの資料も公開

**＜提供元内訳＞**

| 機関 | 点数 | 機関 | 点数 |
|---|---|---|---|
| 県 | ６２,１２９ | 観光関係団体 | ５,８０９ |
| 沿岸市町村 | ５７,０２０ | 社会福祉協議会 | １９,４２３ |
| 内陸市町村 | ９,４４２ | ＮＰＯ関係 | ３９,８３７ |
| 防災関係機関 | １１,５０１ | 大学等 | ２１,０４６ |
| 新聞社 | １１,４８３ | 合計 | ２３７,６９０ |

**＜資料の種別＞**

| データ形式 | 点数 | データ形式 | 点数 |
|---|---|---|---|
| 画像 | ２２３,４７７ | 音声 | ２８ |
| 文書 | １３,７９１ | 合計 | ２３７,６９０ |
| 動画 | ３９４ | | |

# ２．公開資料

- 新聞記事ＢＯＸ（岩手日報、東海新報、復興釜石新聞）
  - ➡ 発災当時からの新聞を画像で閲覧することが可能




（検索画面イメージ）

# 3. 復興教育での活用

- アーカイブの概要や授業での活用例を紹介する動画を収録したDVDを作成・配布（H30.2）




DVDジャケットイメージ

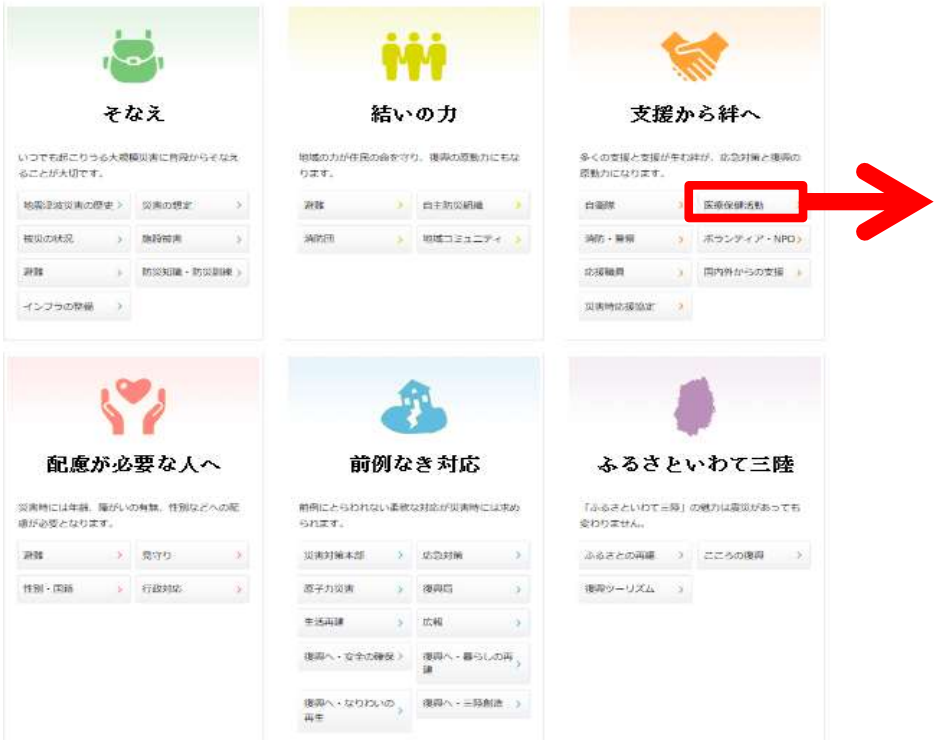



DVDに収録されている活用授業例（中学校編）のイメージ

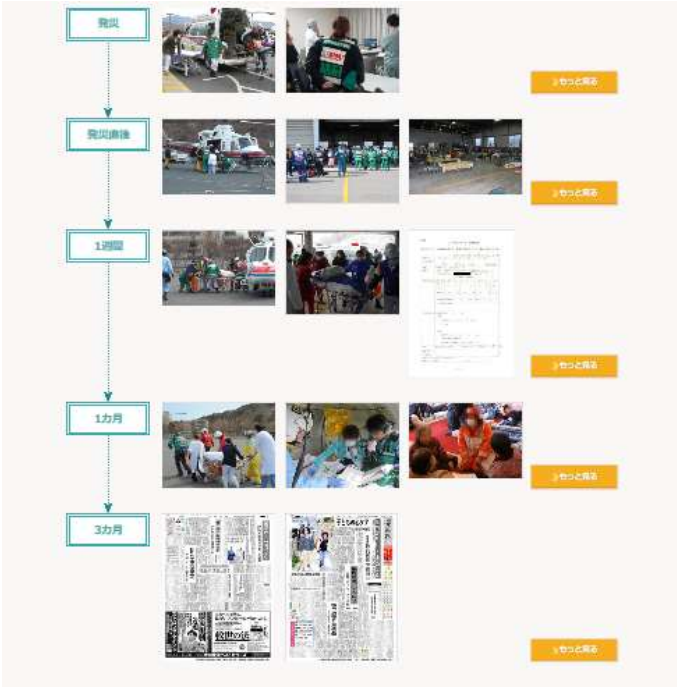
# 3-(1). アーカイブの利点

- ＰＣ、タブレット、スマートフォンなどで、どこからでも閲覧が可能
- 権利処理済であり、資料の二次利用が容易
- 検索による資料の絞込みが可能
- 学校教育に活用できるコンテンツの充実

＜６つのテーマでの分類＞




＜時系列での表示＞




（例）テーマ「支援から絆へ」の「医療保健活動」

# 3-(1). アーカイブの利点

- 権利処理済であり、資料の二次利用が容易

＜社会科教材（㈱正進社）＞




＜書籍：岩手のトリセツ（㈱昭文社）＞




＜展示パネル（東北ろうきん）＞



# 3-(2). 児童・生徒向けコンテンツ

- 希望のニュース

➡ 新聞記事を教材として、当時の子どもたちの行動を知り、心情に触れながら防災に必要な備えについて学ぶ

[児童・生徒用] 震災津波から学ぼう ＼ 小学校高学年から中学生を対象としたコーナーです ／

## ≫希望のニュース　―3.11から明日へ―

### 「姉妹で運ぶ物資と笑顔」（宮古市鍬ケ崎）




2011年4月13日掲載

竹のかご（もっこ）を背負い、救援物資を高台の避難者に届けるボランティア活動をした姉妹のお話です。傾斜の急な坂道の上り下りを、1日に3回もしたのでした。

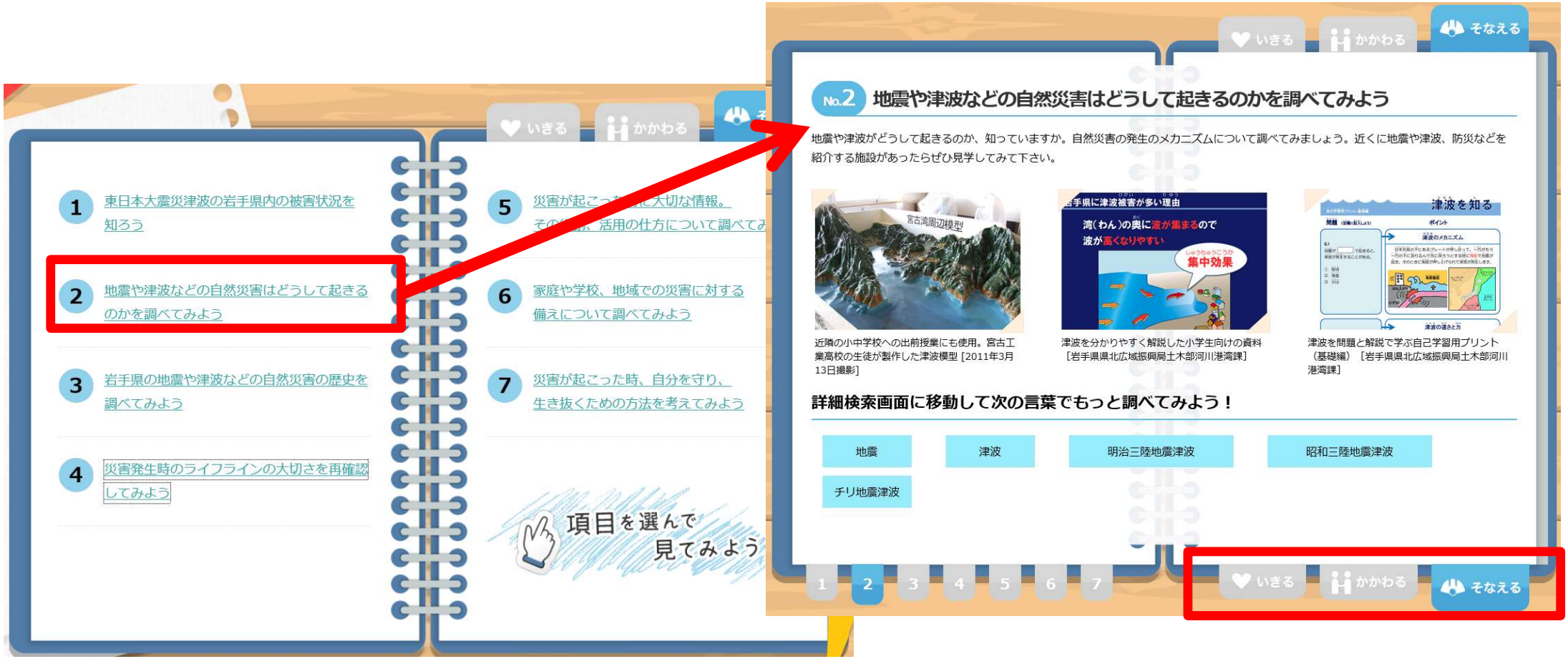
#### 読んだあと考えてみよう

- 二人はどんな思いから、救援物資を運ぶことにしたのでしょう
- 感謝された時、どんな気持ちになったでしょう
- みなさんは、地域の人々のための活動をしたことがありますか

# 3-(2). 児童・生徒向けコンテンツ

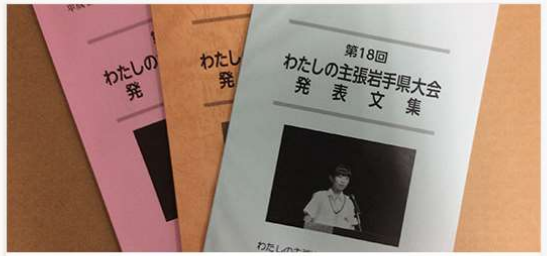
- 21の入り口

➡ 「いわての復興教育」が重視する３つの教育的価値「いきる」、「かかわる」、「そなえる」に対応した21項目を用意



# 3-(2). 児童・生徒向けコンテンツ

- 被災地の中学生・高校生の声と活動に学ぼう
  - ➡ 当時の中高生の作文や学校新聞を収録




中学生「わたしの主張」発表作文

クリックして見てみよう！


私たちの町、今とこれから

1年1組

●今の私たちの町

3月11日。次の日が卒業式だった私達は、式の練習と準備をしていました。何事もなく帰ろうとしてたときにでした。突然立っていられないほどの揺れがきました。みんなで机の下に隠れ、収まるのを待っていました。何分ぐらい隠れていたのか…。揺れが収まり、みんなで外に出ようと下に降りて行くとき、飾ってある花瓶、額、すべて落ちていました。校庭に避難しても揺れていて、とても怖かったです。午後2時46分。地震直後に出されていた津波が来ました。次々飲み込まれていく家。そして、人。学校にいても危ないと感じ、さらに上の山に登りました。山の上から、自分達の町が流されていくのを見ていました。波が引いた後の光景が今も忘れられません。

高田高校「私たちの町、今とこれから」作文

クリックして見てみよう！

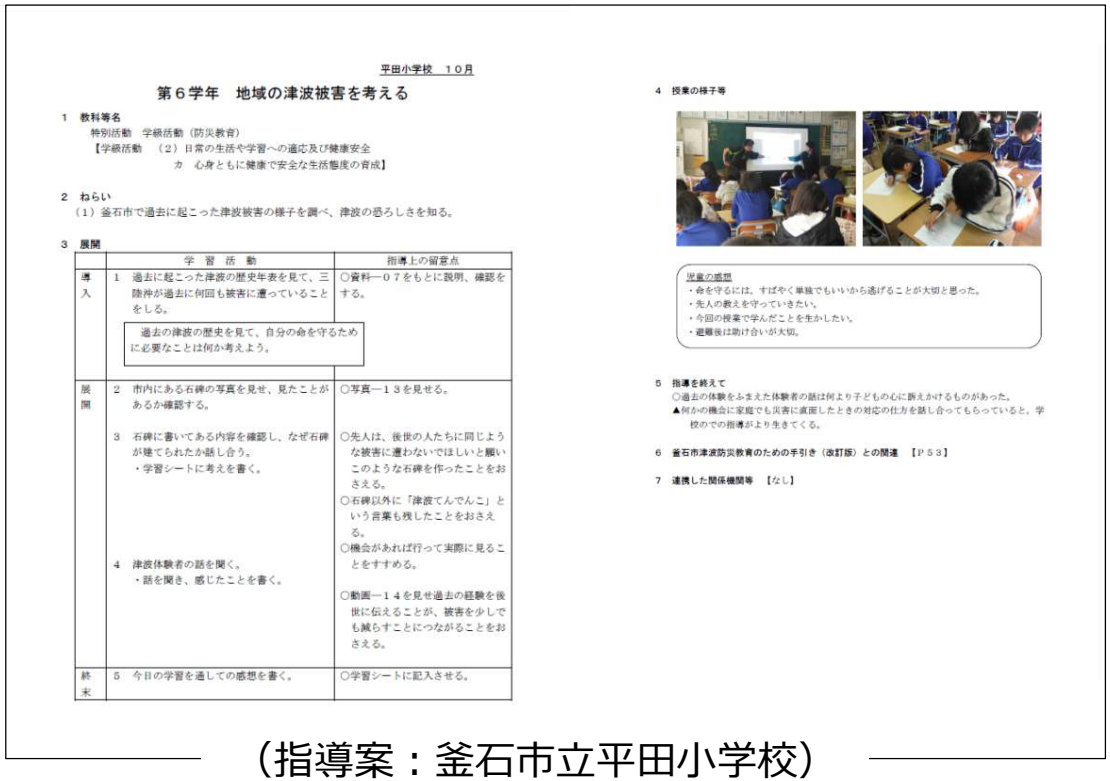



大船渡市立第一中学校　学校新聞「希望」

クリックして見てみよう！

# 3-(3). 教育関係者向けコンテンツ

- 「復興教育・防災教育」 資料館
  - ➡ 岩手県内の学校での実践例をまとめたコンテンツ
    事例集や学習指導案、発表資料などを収録
  - ➡ 毎年度、事例を追加



平田小学校　10月

第６学年　地域の津波被害を考える

1　教科等名
特別活動　学級活動（防災教育）
【学級活動　（2）日常の生活や学習への適応及び健康安全
カ　心身ともに健康で安全な生活態度の育成】

2　ねらい
（1）釜石市で過去に起こった津波被害の様子を調べ、津波の恐ろしさを知る。

3　展開

| | 学　習　活　動 | 指導上の留意点 |
|---|---|---|
| 導入 | 1　過去に起こった津波の歴史年表を見て、三陸沖が過去に何回も被害に遭っていることをしる。<br>過去の津波の歴史を見て、自分の命を守るために必要なことは何か考えよう。 | ○資料―０７をもとに説明、確認をする。 |
| 展開 | 2　市内にある石碑の写真を見せ、見たことがあるか確認する。<br>3　石碑に書いてある内容を確認し、なぜ石碑が建てられたか話し合う。<br>・学習シートに考えを書く。<br>4　津波体験者の話を聞く。<br>・話を聞き、感じたことを書く。 | ○写真―１３を見せる。<br>○先人は、後世の人たちに同じような被害に遭わないでほしいと願いこのような石碑を作ったことをおさえる。<br>○石碑以外に「津波てんでんこ」という言葉も残したことをおさえる。<br>○機会があれば行って実際に見ることをすすめる。<br>○動画―１４を見せ過去の経験を後世に伝えることが、被害を少しでも減らすことにつながることをおさえる。 |
| 終末 | 5　今日の学習を通しての感想を書く。 | ○学習シートに記入させる。 |

4　授業の様子等



児童の感想
・命を守るには、すばやく単独でもいいから逃げることが大切と思った。
・先人の教えを守っていきたい。
・今回の授業で学んだことを生かしたい。
・避難後は助け合いが大切。

5　指導を終えて
○過去の体験をふまえた体験者の話は何より子どもの心に訴えかけるものがあった。
▲何かの機会に家庭でも災害に直面したときの対応の仕方を話し合ってもらっていると、学校での指導がより生きてくる。

6　釜石市津波防災教育のための手引き（改訂版）との関連　【P５３】

7　連携した関係機関等　【なし】

（指導案：釜石市立平田小学校）




（実践例の発表資料：宮古市立藤原小学校）

# 3-(4). 活用事例＜出前授業＞

- アーカイブを活用した出前授業の実施

＜日　時＞　平成30年８月29日
＜場　所＞　西和賀町立湯田小学校　体育館
＜対　象＞　同校　６年生（21名）
＜講　師＞　岩手大学大学院教育学研究科　森本准教授
＜学習課題＞
「アーカイブ」を使って、東日本大震災津波の様子を調べ、これからの自分たちに生かそう
＜学校背景＞

- 夏休みに地域の方々と一緒に防災マップ作りを行っている
- 被災した大槌町立吉里吉里学園との交流を行っている

# 3-(4). 活用事例＜出前授業＞

- アーカイブを活用した出前授業の実施




①防災マップ作りを振り返る



②アーカイブを使い、震災の概況を説明



③タブレットでアーカイブを閲覧し、震災の状況を自由に調べた後、テーマから新聞記事へ誘導



被災地の小中学生が避難所で物資を運ぶ様子などを取り上げた新聞記事



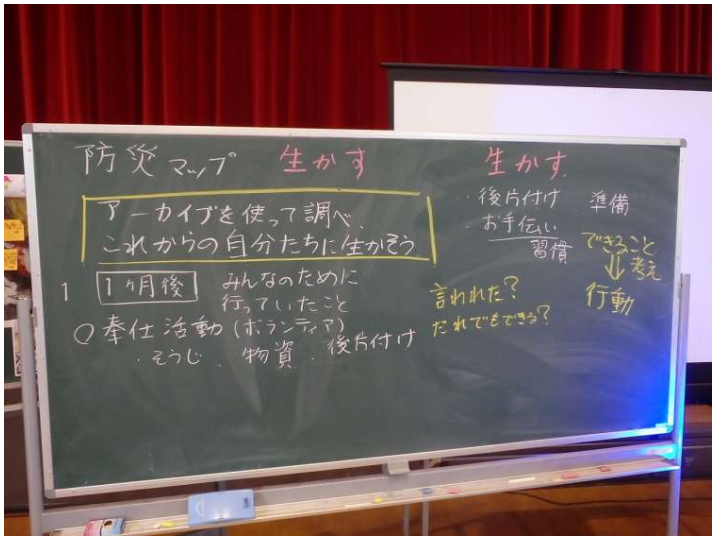
④新聞記事を読んで分かったことをワークシートにまとめる



⑤分かったことをグループで共有し、自分たちに生かせることを考える

# 3-(4). 活用事例＜出前授業＞

- 子どもたちのまとめ
  - いざという時に行動できるように日頃の片付けや手伝いをしっかりやりたい
  - 自分たちにできることを考えて行動したい




- 出前授業を見学した先生方の意見
  - **調べ学習に使える**
  - **視覚的効果が高い（子どもたちが興味を持ちやすい）**
  - 分類されているため、見せたいところだけを見せられる（検索が短時間で済む、作業指示が出しやすい）

# ４．今後の活用

- **震災津波を知らない世代での活用**（震災津波から10年を経過）
  - ➡ すでに小学校には、震災後に生まれた世代が入学
  - ➡ 写真や新聞で当時の状況を知る

- **教育旅行等での活用**
  - ➡ 現地に行く前の事前学習、現地から帰っての事後学習
    ※　東日本大震災津波伝承館（陸前高田市）

- **いわての復興教育副読本「いきる かかわる そなえる」との連携**
  - ➡ 副読本にQRコードを添付することによるアーカイブへの誘導
  - ➡ ＧＩＧＡスクール構想による学校教育のICT化に伴う更なる活用

20万点を超える東日本大震災津波に関する資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ 希望

**http://iwate-archive.pref.iwate.jp/**

パソコンから　タブレットから　スマートフォンから

今すぐアクセス

岩手県 復興復興防災部 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10番1号
TEL : 019-629-6945